

専門日本語研修（文化・学術専門家） 申請要領

JAPANESE-LANGUAGE PROGRAM FOR SPECIALISTS
(SPECIALISTS IN CULTURAL AND ACADEMIC FIELDS)
APPLICATION INSTRUCTIONS

2017 (平成 29) 年度用
For FY 2017

*English instructions starts on page 5.

1. 趣旨

諸外国の研究者（社会科学又は人文科学専攻）、海外の大学院で社会科学又は人文科学の分野を専攻し、将来日本研究関連の職業に就くことを希望している大学院生、海外の高等教育機関、公共図書館等に在籍する専任司書、及び海外の博物館、美術館等で、日本を含む国際交流業務に携わる専任の学芸員等で、研究活動上及び専門業務上の目的で日本語の習得を望む者を対象に、日本語の集中研修を行います。

2. プログラム概要

(1)実施期間：次の2つのコースがあります。いずれのコースも一部のみの受講は認めません。

ア 【2か月コース】：2017（平成29）年6月～2017（平成29）年8月

イ 【6か月コース】：2017（平成29）年10月～2018（平成30）年4月

(2)研修場所：国際交流基金関西国際センター（大阪府泉南郡田尻町）

(3)研修内容：

ア 【2か月コース】

専門業務及び研究活動を進めるにあたり、「話す」「聞く」「読む」「書く」能力を総合的にレベルアップすることを目標としたコースです。情報の収集、発信など専門活動に必要な日本語スキルの習得を目指したクラスもあります。日本語授業や交流プログラムのほか、研修の最後には、各自の専門業務/研究を紹介する発表会があります。

イ 【6か月コース】

実際に専門活動を行いながら、そのために特に必要となる日本語の運用能力を高めるためのコースです。研修期間中に自主的に専門家へのインタビューや関連機関への訪問を企画したり、専門資料の収集と読解などを体験しながら、情報の交換・収集・発信のための日本語スキルの習得を目指します。教室内で日本語を学ぶだけでなく、専門活動に集中する期間も設定されているので、参加者は明確なテーマを持って自主的に計画を立てて活動することが求められます。研修の最後には、日本での活動・学習の成果を報告する発表会があります。

なお、【2か月コース】【6か月コース】に共通して、この研修は、研究活動や専門業務に必要な日本語能力を養成するものであり、各専門分野の教育を行うものではありません。また、原則として全ての授業に参加しなければなりません。

3. 申請資格

申請者は以下に掲げる要件を全て満たしていなければなりません。

(1) 研修開始時点において、所属機関と雇用関係にある者で帰国後も当該機関に引き続き勤務することが予定されている者（ただし、大学院生は除く）で、以下の5要件のいずれかを満たすこと。

ア 日本以外の国・地域の大学・研究所等の高等教育機関又は研究機関において教員（講師、助手等）、研究員等の身分を有して研究活動を行っていること。

イ 日本以外の国・地域の公的機関（官庁、シンクタンク等を含む）において専門的な研究業務に従事していること。

ウ 日本以外の国・地域で大学院修士課程若しくは博士課程に研修開始時点で正規生として在籍していること（学位取得資格がない聴講生・研究生等は除く）。

※【2か月コース】に限り、卒業時に修士号を取得できる大学の大学生の場合、2016年12月1日現在、最終学年に在籍し満22歳以上であれば、この要件に該当するものと見なします。

- エ 日本以外の国・地域の高等教育機関・研究機関、文化交流機関又は公共図書館等に在籍する専任司書であること。
- オ 日本以外の国・地域の博物館・美術館等の正職員（学芸員等）で、日本を含む国際交流業務に携わる者。
- (2) 本研修参加に関し、上記(1)に掲げる申請者の所属機関の責任者の了承が得られる者。
- (3) 専攻分野が、日本をその対象に含む社会科学又は人文科学であること。
- ※【6か月コース】に限り、日本語学、日本語教育専攻は除きます。
- (4) 特定の専門業務及び専門の研究活動を円滑に遂行する上で日本語能力を必要としていること。また大学院生については、日本に関係のある内容で修士論文又は博士論文を執筆する予定であり、研究のために日本語の学習を必要としていること。
- ※【6か月コース】に限り、日本に関連する明確な研究テーマ又は活動テーマを持ち、その成果を発表する予定があること。
- (5) 申請時点で日本語能力試験 N4 又は旧日本語能力試験 3 級程度以上の日本語能力を有していること（日本語能力試験の各レベルの認定の目安は日本語能力試験公式ウェブサイトの「N1～N5：認定の目安」<http://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>を参照）。
- (6) 2016 年 12 月 1 日より逆算して過去 5 年以内に、国際交流基金日本語国際センターの各研修に参加していないこと。
- (7) 過去に関西国際センターの「司書日本語研修」、「研究者・大学院生日本語研修」、又は「専門日本語研修（文化・学術専門家）」に参加していないこと。
- ※【6か月コース】に限り、過去に参加した研修コースが 2 か月コース若しくは 4 か月コースであり、かつ、2016 年 12 月 1 日現在、研修修了時より 5 年を経過している場合は、この要件を満たしているものとみなす。
- (8) 2016 年 12 月 1 日現在、満 40 歳未満であること。
- (9) 心身ともに健康であること。
- (10) 日本の義務教育を 3 年以上受けた者でないこと。
- (11) 研修開始時点において、他の研修・留学等で日本に来る予定がないこと。
- (12) 日本と国交のある国の国籍を有すること。
- ※ただし、台湾の方も申請可能です。

4. 国際交流基金側負担経費

- (1) 宿舎（関西国際センター内のシングルルーム。研修旅行中は、相部屋の可能性あり）
- (2) 研修期間中の食事（一部現金支給）
- (3) 研修旅行諸経費の一部
- (4) 教材費
- (5) 研修参加に必要な期間中の疾病及び傷害に対する海外旅行保険の付与（補償額の上限あり。既往症や歯科治療等は当該保険の適用対象外）。6 か月コースのみ、国民健康保険に加入
- (6) 研修の授業料
- (7) 上記に加え、次に掲げる地域に所在する国の国籍を有する者には、往復航空券（エコノミークラス割引運賃、居住地最寄り空港～関西国際空港間）、出国税・空港利用税及び研修補助費（来日中の自主研修に必要な公共交通機関の交通費及び通信費等の一部を現物で支給）。

アジア・大洋州地域（韓国、台湾、シンガポール、ブルネイ、オーストラリア、ニュージーランドを除く。中国・香港は英国 BNO 旅券及び香港 SAR 旅券保持者を、中国・マカオはマカオ SAR 旅券保持者を、それぞれ除く）、中南米地域（セントクリストファー・ネイビス、トリニダード・トバゴ、バハマ、バルバドスを除く）、東欧地域（エストニア、クロアチア、スロバキア、スロベニア、チェコ、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ラトビア、リトアニア、ルーマニア及びロシアを除く）、中東・北アフリカ地域（アラブ首長国連邦、イスラエル、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、バーレーンを除く）、アフリカ地域

5. 選考方針

申請者の日本語能力、日本語研修の必要性、研究・業務の業績及び内容、将来性、専門日本語能力習得の可能性等を総合的に勘案し、採否を決定します。

また以下のような申請者は優先度が高くなります。

- (1) 現職の専門家で、優れた業績を持つ申請者。
- (2) 大学院生については、修士課程在籍者よりも博士課程在籍者。
- (3) 明確な研究テーマを持ち、訪日の必要性が高いと判断される申請者。【6か月コース】においては、専門

活動を進めながらの日本語学習が期待されているため、より高度な専門性を有し、専門活動が自主的に進められると判断される申請者。

- (4) 日本留学経験又は長期滞在経験のない者。
- (5) 波及効果の観点から、各国・地域における主要な高等教育機関及び研究機関、若しくは公的機関に所属する専門家からの申請。

6. 申請手続

(1) 2016年12月1日までに、最寄りの国際交流基金海外拠点又は日本国大使館・総領事館等の在外公館に提出してください。台湾在住の方は、(公財)交流協会の台北事務所に提出して下さい。なお、自分の国籍とは異なる国及び地域に居住していて、本件プログラムに申請する場合には、現在の居住地の最寄り国際交流基金海外拠点又は日本国大使館・総領事館等の在外公館宛に申請書を直送してください。

(2) 必要提出書類

- シート 1-A 候補者シート(研究者・大学院生のみ)
- シート 1-B 候補者シート(専任司書のみ)
- シート 1-C 候補者シート(専任学芸員のみ)
- シート 2 推薦書シート(異なる2名の方より)
- シート 3 日本語能力評価用紙
- シート 4 申請資格(チェックリスト)

* 以下も添付してください。

ア 研究業績のコピー(1点)

著書、論文、研究発表原稿等。著書の場合、一部の抜粋でも可。候補者が大学院生の場合、学部及び大学院の成績証明書でも可。候補者が専任司書の場合、業務に関連する報告書、蔵書目録作成やシステム開発に関する業務業績等でも可。

イ 候補者シートに列挙した各研究業績の概要
各々約50語程度の要約

7. 審査及び採否通知

国際交流基金が審査を行い、採否結果は、2017年4月に国際交流基金海外拠点又は日本国大使館・総領事館等の在外公館を通じて通知されます。

8. 採用人数

- (1) 2016(平成28)年度採用人数：応募96人／採用38人
(採用内訳：2か月コース18人、6か月コース20人)
- (2) 過去の採用案件一覧については以下のウェブサイトをご参照ください。
<http://www.jfkc.jp/ja/training/culture-science.html>

9. 研修参加者の義務

研修参加者は以下の条件を守らなければなりません。

- (1) 日本滞在中は日本国法令を守ること。
- (2) 研修に専念し、日本滞在を他の目的(宗教的あるいは政治的目的等)に利用しないこと。
- (3) 集団での研修に参加することを前提に招へいされたことを理解し、国際交流基金関西国際センターの指示に従って、全ての研修活動に参加すること。
- (4) 原則として、研修期間の開始より前に来日しないこと。
- (5) 原則として、研修期間中に一時帰国や第三国への旅行をしないこと。
- (6) 国際交流基金関西国際センターが滞在延長を許可した場合を除き、研修期間が終わり次第、直ちに帰国すること。
- (7) 家族を同伴しないこと。

10. 事業に関する情報の公開

- (1) 採用された場合、申請者・団体の名称、事業の概要等の情報は、国際交流基金の事業実績、年報、ウェブサイト、関西国際センター研修実施案内等において公表されます。
- (2) 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」(平成13年法律第140号)に基づく開示請求が国際交流基金に対してなされた場合には、同法に定める不開示情報を除き、提出された申請書類等は、開示されます。

11. 個人情報の取扱い

(1) 国際交流基金は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第59号）を遵守し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。国際交流基金の個人情報保護への取組については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jpf.go.jp/j/privacy/>

(2) 申請書及び添付書類に記入された情報は、採否審査、事業実施、事後評価等の手続のほか、次のような目的で利用します。これらの個人情報の利用については、申請機関より候補者にもお知らせくださるようお願いいたします。

ア 研修参加者の氏名、性別、職業・肩書、所属先、事業期間、事業内容等の情報は、国際交流基金の事業実績、年報、ウェブサイト等の公表資料への掲載、統計資料作成に利用されます。また、国際交流基金事業の広報のため、報道機関や他団体に提供することがあります。

イ 採用者の居住する国の日本国大使館・総領事館等の在外公館及び日本国外務省にも、査証発給のため、これらの情報を提供することがあります。

ウ 申請書、添付書類及び事業報告書・成果物などは、採否審査、事後評価等のため、外部有識者等の評価者に提供することがあります。提供する際、評価者の方には、個人情報の安全確保のための措置を講じていただくようにしています。

エ 事業終了後に、本件事業に関するフォローアップのためのアンケートをお願いする場合があります。

オ 記入される連絡先に、他の国際交流基金事業についてご連絡を差し上げることがあります。

(3) 国際交流基金に提出された事業報告書・成果物などは、国際交流基金事業の広報のため、公開することがあります。

(4) 研修実施のため、渡航手配や研修プログラムに協力を得る関係者（保険会社及びその代理店、航空会社、自治体等）に、必要な範囲で情報を提供します。

(5) 本研修に応募された方は、上記目的での個人情報の利用に同意したものとみなします。

12. 問合せ先

関西国際センター教育事業チーム Tel. +81-72-490-2601～2 Fax. +81-72-490-2801

E-mail: jpf-kansai@jpf.go.jp

申請書のフォーマットは、次のウェブサイトから入手可能です。<http://www.jpf.go.jp/j/program/index.html>

1. Objectives

This program is an intensive training course of Japanese-language for the following applicants.

- (1) Scholars and researchers outside Japan in the fields of social sciences or humanities who need to learn Japanese language for their research activities
- (2) Postgraduate students outside Japan who major in the fields of the social sciences or humanities, wish to be engaged in jobs related to Japanese studies in the future, and need to learn Japanese language for their academic research activities
- (3) Full-time librarians of higher education / research institutions or public libraries outside Japan who wish to improve their practical Japanese-language proficiency to perform their jobs better; and
- (4) Full-time curators and researchers of museum outside Japan currently working for international exchange programs involving Japan who need a good command of Japanese language for specific work-related purposes

2. Program Outline

(1) Duration

There will be two courses as described below. Partial participation will not be accepted in both courses.

- a. Two-month course: From June 2017 to August 2017
- b. Six-month course: From October 2017 to April 2018

(2) Course Venue

The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai (JFJLI, Kansai) (Tajiri-cho, Sennan-gun, Osaka, Japan)

(3) Description of the Program

a. Two-month course

This course focuses on general Japanese-language proficiency and aims to assist participants improve speaking, hearing, reading, and writing skills. There are also classes aimed to improve Japanese skills necessary to gather and output information for the participants' specialized work/ research. Other than Japanese classes and social events, participants are required to make a presentation of their specialized work/research at the end of the course.

b. Six-month course

The six-month course is a course where participants work on increasing their level of functional Japanese, and especially the required language abilities for conducting actual specialized work/research. During the training course, participants will independently conduct interviews with specialists in their field as well as plan their own trips to visit related facilities and, as they gather and understand research materials, they will be able to acquire the skills needed to exchange, collect, and report information in Japanese. The participants will need to independently plan their activities with an explicit theme. Participants are required to make a presentation of their accomplishments of their activity and study during their stay in Japan at the end of the course.

Both programs are primarily language courses for participants requiring Japanese-language proficiency for specialized work and research activities. Professional education in their specific area of expertise is not included in the curriculum. Participants, in principle, must attend all classes and activities in the curriculum.

3. Eligibility

Individuals must fulfill the following to apply:

- (1) Individuals who fulfill at least one of the following requirements and have an employment relationship with the organization they are currently affiliated with, at the time of participation in the program. It is expected that participants will continue working in the aforementioned affiliated organization after completing this program (excluding graduate school students).
 - a. Individuals who carry out research activities as teachers (professors, instructors, teaching assistants, etc.), researchers, etc., at institutions of advanced education, such as universities, research centers, or other research organizations outside Japan.
 - b. Individuals who are engaged in a job of specialized research work in public sector organizations, such as government agencies, think tanks, etc., outside Japan.
 - c. Individuals who are officially registered as full-time students in a Master's or Doctoral course of a graduate school

outside Japan at the time of participation in the program. (excluding non-degree students.)

* For the two-month course ONLY: concerning undergraduate students of universities and colleges that issue a Master's degree upon graduation, applicants will be considered to fulfill this requirement, if they are in the final year and their age is 22 or older as of December 1, 2016.

d. Individuals who are currently employed as full-time librarians by universities, colleges, other institutions of advanced education, academic research institutions, cultural exchange organizations, or public libraries.

e. Individuals who are full-time curators of museums outside Japan currently working for international exchange programs that concern Japan.

(2) Individuals applying for this program must obtain the permission of the representative of their affiliated organization mentioned above.

(3) Individuals must be in a field of Japan-related social sciences or humanities.

* For the six-month course ONLY: Japanese-language study and Japanese-language education majors are excluded.

(4) Individuals who need Japanese-language proficiency to smoothly carry out their specialized work and research activities. For graduate school students, applicants must plan to write their Master's or Doctoral dissertation on a subject related to Japan and need to learn the Japanese-language in order to carry out the research necessary to accomplish that purpose.

* For the six-month course ONLY: Individuals who have a specific and detailed theme related to Japan in their study or work, and plan to make a presentation on the achievements.

(5) Individuals who have a proficiency in Japanese of Level N4 in the Japanese-Language Proficiency Test (JLPT), Level 3 of the old JLPT, or their equivalent (please view the official website of JLPT

<http://www.jlpt.jp/e/about/levelsummary.html> to find the summary of linguistic competence required for each level.)

(6) Applicants must not have participated in Teacher Training Programs organized by the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa in the last five years as of Dec.1, 2016.

(7) Individuals who have never participated in the "Japanese-Language Program for Librarians", "Japanese Language Program for Researchers and Postgraduate Students", or "Japanese-Language Program for Specialists (in Cultural and Academic Fields)" organized by the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai.

* For the six-month course ONLY: the applicants who have participated in a two-month or four-month program and it will be more than five years since their completion of the program as of December 1, 2016, the application can be considered to fulfill the above eligibility.

(8) Individuals under the age of 40 as of December 1, 2016

(9) Individuals in good physical and mental health.

(10) Individuals who have not received compulsory education in Japan for more than three years.

(11) Individuals who are not scheduled to come to Japan for study or training under other programs, at the time of participation in the program.

(12) Individuals who are nationals of a country that has diplomatic relations with Japan. (※Taiwanese are eligible to apply for this program.)

4. Expenses Coverage

(1) Accommodation (a single room for each participant) within the Japanese-Language Institute, Kansai. In the case of field trips, participants may be required to share a room.

(2) Meals during the program period (partly in the form of cash allowances)

(3) A limited amount of expenses necessary for participation in the field trips,

(4) Textbooks and other materials.

(5) Tuition.

(6) Overseas travel insurance with an upper limit on coverage (The insurance will cover the necessary expenses for sickness and injury up to a limit on the policy during the period from participants' departure from the airport nearest participants' residence until participants' return to the airport nearest participants' residence. The insurance will not cover the expenses for a chronic or preexisting disease or injury contracted before participants' arrival to Japan or dental care.). 6-month course participants apply for the national health insurance.

(7) Discount round trip airline ticket (economy class) to and from the airport nearest from home residence, airport tax and foreign travel tax, and a set amount of in-kind allowances necessary for the participation in the program (to cover public transportation fee and communication fee, etc.) will be provided for participants who are nationals of the countries of the following regions:

Asia and Oceania (excluding Korea, Taiwan, Brunei, Singapore, Australia, New Zealand, Hong Kong residents in China who hold a BNO or Hong Kong SAR passport, and Macau residents in China who hold a Macau SAR passport), Central and South America (excluding, the Bahamas, Barbados, St. Kitts-Nevis and Trinidad and Tobago), Eastern Europe (excluding Bulgaria, Croatia, Czech Republic, Estonia, Hungary, Latvia, Lithuania, Poland, Romania, Russia, Slovakia and Slovenia), Middle East and North Africa (excluding Bahrain, Israel, Kuwait, Oman, Qatar, Saudi Arabia and U.A.E.), Africa

5. Selection Policy

(1) Selection will be made in line with the following criteria, which will be comprehensively judged: applicants' current Japanese-language proficiency, their needs for Japanese-language training, their research/work achievements and content, the possibility of their success in their specialized areas, and the possibility of improvement in their language skills. The following applicant will be given priority.

- a. Specialists who have made outstanding achievements in their specific fields.
- b. In the case of graduate school students, postgraduate students, compared to graduate school students.
- c. Applicants with a specific and concrete theme in their study, and have a high necessity to study in Japan.
- d. Those who have no experience studying or living in Japan.

For six-month course, applicants who are highly specialized in the field and have the ability to independently conduct their specialized work/ research will be given priority, since they are expected to study the Japanese language and conduct their work/research during the course.

- e. In the view of ripple effect, applicants who belong to such affiliations as major institutions of advanced education, research organizations or public sector organizations.

6. Application Procedures

(1) You should submit the application form to the nearest Japan Foundation office, or the diplomatic mission of Japan, by December 1, 2015. Residents in Taiwan should contact the Interchange Association, Japan, Taipei office.

Regardless of whether or not you hold a nationality of the country you currently live in, the application will be accepted at the nearest Japan Foundation office, or the diplomatic mission of Japan.

(2) Required Sheets and Attachments

SHEET 1-A	APPLICANT SHEET (only for Researchers and Postgraduate Students)
SHEET 1-B	APPLICANT SHEET (only for Librarians)
SHEET 1-C	APPLICANT SHEET (only for Curators /Museum Researchers)
SHEET 2	RECOMMENDATION SHEET (from two persons)
SHEET 3	ASSESSMENT FORM OF JAPANESE-LANGUAGE ABILITY
SHEET 4	ELIGIBILITY CHECKLIST

Also attach:

- a. A copy of one of your achievements

For example, your publications, dissertations, or scripts of your major research work, etc. In case of a book, you may attach a copy of an excerpt, instead of all pages. In case of postgraduate students, the certificate of marks for the universities would also be acceptable. In case of librarians, your library reports, and achievements in your library service such as making catalogues of books, developing a cataloguing system, etc. would also be acceptable.

- b. Summary of your achievements

As instructed on "APPLICANT SHEET", also attach a summary of your achievements listed on them (about 50 words for each).

7. Selection and Notification of Results

The Japan Foundation will screen the applications. The result will be notified by April 2016 through the Japan Foundation office or the diplomatic mission of Japan.

8. Number of Participants

(1) Number of Participants for FY 2016

Application 96/Acceptance 38

- a. Two-month course: 18 participants
 - b. Six-month course: 20 participants
- (2) Please see the following website for past participants.
<http://www.jfkc.jp/en/training/culture-science.html>

9. Obligations

The participants are required to adhere to the following:

- (1) To observe the laws of Japan during their stay in Japan;
- (2) To devote themselves to the program and not to make use of their stay in Japan for any other purposes, such as religious or political purposes;
- (3) To understand that they are invited as members of a group, and to attend every activity of the program, under the direction of JFJLI, Kansai;
- (4) Not to arrive in Japan before the beginning date of the program;
- (5) Not to go abroad or return to their home country for the duration of the program, except the Internship in his/her nation;
- (6) To return to their home country as soon as the official period of the program expires, unless JFJLI, Kansai permits an extension of stay in Japan beyond the program; and
- (7) Not to be accompanied by their family members.

10. Disclosure of Information

- (1) Details of successful projects supported by the Japan Foundation (e.g., the name of the applicant and its descriptions) will be made public in the *Kokusai Koryu Kikin Jigyō Jisseki* (Detailed Annual Reports of the Japan Foundation), on the Japan Foundation's website, the Program Guide of The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai, and in other public-relations materials.
- (2) When a request for information based on the "Law Concerning the Disclosure of Information Held by Independent Administrative Institution, etc." (Law No. 140 of 2001), is received, materials such as submitted application forms will be disclosed (unless stipulated by laws as not to be disclosed).

11. Handling of Personal Information

- (1) The Japan Foundation handles personal information appropriately and in accordance with the "Law Concerning Access to Personal Information Held by Independent Administrative Institutions" (Law No. 59 of 2003). Details of the Japan Foundation's personal information protection policy can be reviewed at the following website:
<http://www.jpf.go.jp/e/privacy>
- (2) The Japan Foundation uses personal information on the application materials for screening, implementation, and evaluation procedures of the project. They may also be used for the following purpose:
 - a. Details of participant's information, such as name, gender, job and position, affiliation, project duration, and project description, etc. are published in the Program Guide, the *Kokusai Koryu Kikin Jigyō Jisseki* (Detailed Annual Reports of the Japan Foundation), the *Annual Report*, on the Japan Foundation's website, in other public-relations materials. They are also used in compiling statistics and released to the press for publicity purposes.
 - b. There may be cases in which these information are released to Ministry of Foreign Affairs of Japan, Embassies or Consulates-General of Japan, etc. at the place where participant lives in order to apply for a visa.
 - c. There may also be cases in which copies of applications, including documents containing some personal information, are provided to outside consultants in order to facilitate the screening process and the evaluation of the results of projects. The Japan Foundation requests the consultants to take measures to ensure safety of the provided personal information.
 - d. There may also be cases in which the Japan Foundation sends questionnaires to the addresses written on this form after the project has ended.
 - e. There may also be cases in which the Japan Foundation uses the information written on the application form to contact the applicants to inform them of other Japan Foundation activities.
- (3) There may be cases in which the project reports and other related publication are released to the public.
- (4) Information is offered only to the extent necessary for the persons concerned who get cooperation to voyage

arrangements or training programs (The insurance company and its agencies, airline companies, local governments, etc.)

(5) It is considered that by applying to this program, participants agree to the use of personal information for the above-mentioned policy.

12. Contact Information/Section in Charge

Educational Training Section, The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai

Tel. +81-72-490-2601~2 Fax. +81-72-490-2801

E-mail: jpf-kansai@jpf.go.jp

Please visit the following website to download the Application Forms.

<http://www.jpf.go.jp/e/program/list.html>

専門日本語研修（文化・学術専門家）申請書

2017(平成 29)年度用
For FY 2017

JAPANESE-LANGUAGE PROGRAM FOR SPECIALISTS
(SPECIALISTS IN CULTURAL AND ACADEMIC FIELDS)
APPLICATION FORM

SHEET 1-A

APPLICANT SHEET for *Researchers and Postgraduate Students*
候補者シート（研究者・大学院生用）

Please fill in this application form in Japanese or in English. / 申請書は、日本語又は英語で記入してください。

Check the course for which you wish to apply. / 参加希望のコースに印をつけてください。

[1st Priority][2nd Priority]

[第1希望] [第2希望]

- Two-month course (Jun.-Aug. 2017) 2か月コース（2017年6月－8月）
 Six-month course (Oct.2017-Apr. 2018) 6か月コース（2017年10月－2018年4月）

1. Applicant 申請者

Name 氏名 _____

申請者住所 Home Address _____

Country 国名 _____

Nationality 国籍 _____ Telephone 電話 _____

Signature of the applicant _____ Date of signature
 申請者署名 _____ 日付 _____

2. Affiliation 所属先

Check and fill in your current status. 現在の身分に印をつけて記入してください。

- Researcher 研究者

Affiliation 所属機関名 _____

Employed from Year/Month 開始年/月 _____ Until(if due date)終了（予定があれば） _____

Date proceeded (or planned to proceed) to the Degrees (masters, doctorate)

Masters Degree (Year/Month)修士号（年/月） _____

Doctoral Degree (Year/Month)修士号（年/月） _____

- Postgraduate student (masters course) 大学院生（修士課程在籍中）

Affiliation 所属機関名 _____

Entrance Year/Month 開始年/月 _____

Graduate due Year/Month 卒業予定年/月修了予定 _____

※ If due to proceed to Doctoral course, please write the entrance Year/ Month. 博士課程進学が確定している場合、入学予定年月を記入。 _____

- Postgraduate student (doctoral course) 大学院生（博士課程在籍中）

Affiliation 所属機関名 _____

Entrance Year/Month 開始年/月 _____ Graduate due Year/Month 卒業予定年/月修了予定 _____

Date proceeded (or planned to proceed) to the Degrees (masters, doctorate)

Masters Degree (Year/Month)修士号（年/月） _____

Doctoral Degree (Year/Month)博士号（年/月） _____

SHEET 1-A

3. Permission from your Present affiliation

所属先の許可

Name of University, Institute, etc.
大学・研究機関名 _____

This affiliation permits the applicant mentioned above to apply for this program and in case he/she is selected, to participate in this program.

当機関は、上記の者が本研修事業に申請すること、及び採用された場合に本研修事業に参加することを許可いたします。

Signature of Representative of the affiliation

代表者署名 _____

Name of Representative of the affiliation

代表者氏名 _____

Name of Department, Course, etc.

所属コース(研究科名等) _____

Address

住所 _____

Country 国名 _____

TEL _____

FAX _____

URL _____

4. The person who recommends the applicant

推薦者

Names and positions or titles of the two people who write "Recommendation Sheets"

推薦書シートの推薦者の氏名、肩書

1) Name 氏名 _____

Position/Title

職名 _____

2) Name 氏名 _____

Position/Title

職名 _____

※ For the use of personal information, please refer to the "Application Instructions" 11. Handling of Personal Information.

個人情報の利用目的については、申請要領の「11. 個人情報の取扱い」をご覧ください。

SHEET 1-A

5. Name 氏名

In Roman alphabet and *Kanji* (if you have) ローマ字及び漢字

Roman alphabet
ローマ字 _____

Kanji 漢字 _____

Name on your Passport

 (Family Name) (First Name) (Middle Name)

6. Sex 性別 Male 男 Female 女

7. Date of Birth 生年月日 _____ **Age 年齢** _____
 (Day 日) (Month 月) (Year 年)

8. E-mail _____

9. Nearest Airport 最寄り空港 _____

10. Academic Background 学歴

Institution 機関名	Location 場所	Period 期間	Major 専攻	Degree, diploma 学位
		____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
		____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
		____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		

11. Professional Experience 職歴

Institution 機関名	Location 場所	Period 期間	Position 地位	Type of Operation 職種
		____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
		____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
		____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		

12. Previous Stay in Japan 日本滞在歴

(period, purpose, grants received, if any 期間、目的、受けたグラントを明記のこと)

13. First Language (Mother tongue) 母語 _____

14. Experience in learning foreign languages other than Japanese 既習外国語 (日本語を除く)

Language 言語	Proficiency 能力	Language 言語	Proficiency 能力
English 英語	Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し Poor □できない		Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し
	Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し		Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し

SHEET 1-A

15. Write your major work, research or dissertation (Please select up to 5 works).

研究業績・論文（主なもの5点まで）についてお書きください。

※ Attach a copy of one of the above-mentioned works. Also attach the summary (approx. 50 words each) of each of these works.

上記業績の内の1つのコピーを添付してください。また、各業績の研究概要（各々約50語程度の要約）を添付してください。

Title of works or dissertations, year of publishing, name of publisher, journal, or conference, language use in it, etc.
 題名、発表年、出版社・雑誌名、会議名、使用言語、その他

①

②

③

④

⑤

SHEET 1-A

16. Describe your major field of study or research 専門分野・研究について記述してください。

(1) Key words of your major study or research at present (Please select up to 5 words.)

現在、自分が行っている研究のキーワード (5 つまで)

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

(2) Title of the dissertation you plan to write

予定している論文のテーマ

(3) Contents of your major study or research at present, and fields or subjects in which you are interested

現在、自分が主に行っている研究の内容、関心のある分野・テーマ等

17. Reason for applying to the program 参加志望理由

SHEET 1-A

18. How will the Japanese language be useful in your work/study? Please describe as specifically as possible.

自分の職務や研究において日本語能力がどのように役立つか、できるだけ具体的に記述してください。

19. Study or research plan after participation in this program 本研修参加後の研究予定

20. Experience of learning the Japanese language 日本語学習歴

Institution 機関	Period 期間	Hours per week 週時間数	Textbooks 使用教材
	____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
	____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
	____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
	____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		

21. Score(s) of the Japanese-Language Proficiency Test administered by the Japan Foundation

日本語能力試験（国際交流基金主催）のスコア

Year 年	Level 級	Score 点数	Test Site 都市	Reg. Number 受験番号	Certificate Number (if passed) 認定書番号 (合格の場合)
_____	_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	_____	_____

Have not taken the Test before. 受験経験なし

SHEET 1-A

22. Present proficiency in the Japanese language 現在の日本語能力

Please check all items which are within your ability.
下記項目の該当する欄をすべてマークしてください。

Conversation 会話力

(1) General / 一般

- No ability. / 全くできない。 No experience. / したことがない。
 Can make greetings and introduce myself. / あいさつ、自己紹介ができる。
 Can converse on survival level. / 旅行に必要な会話ができる。
 Can converse with ease. / 日常生活の会話にはほぼ問題ない。
 Can converse about current social topics. / 今、社会で問題になっていることについて会話をすることができる。

(2) Professional / 職務

- No ability. / 全くできない。 No experience. / したことがない。
 Can explain briefly about my work or field of study. / 自分の職務や専門分野について簡単に説明できる。
 Can answer the question on my work or field of study. / 自分の職務や専門分野に関する質問に答えることができる。
 Can discuss issues of my field of study. / 専門分野について議論できる。

Characters 文字

(1) Hiragana & Katakana ひらがな・カタカナ

- Can not read nor write. / 読めない。書けない。
 Can read and write. / 読める。書ける。

(2) Kanji 漢字

- Can understand (*) Kanji. *Fill in approx. number / 理解できる漢字 () 字程度
 Can write (*) Kanji. *Fill in approx. number / 書ける漢字 () 字程度

Reading 読む力

- No ability. / 全くできない。
 Can understand simple sentences. / 簡単な文が理解できる。
 Can understand texts of the intermediate level. / 中級レベルの文章が理解できる。
 Can read newspaper articles/academic papers and understand most of the contents with dictionaries. / 辞書を使いながら新聞記事、専門書を読んで概要が理解できる。
 Can read newspaper articles/academic papers and understand most of the contents without dictionaries. / 辞書なしで新聞記事、専門書を読んで概要が理解できる。

Writing 書く力

- No ability. / 全くできない。 No experience. / 書いたことがない。
 Can write a simple description on a familiar matter. / 身近な事柄について簡単な説明文が書ける。
 Can write an essay describing experiences and impressions. / 経験や印象を説明する簡単な文が書ける。
 Can write an essay on a social issue expressing my point of view. / 社会問題について意見文が書ける。
 Can write a short report on a topic related to my work or field of study. / 自己の職務や専門分野についての短いレポートが書ける。
 Can write a paper on a topic related to my work or field of study. / 自己の専門に関して論文が書ける。

23. What specific ability in the Japanese language do you want to improve or acquire through this program?

どのような日本語の能力を本研修で習得したいか、具体的に書いてください。

専門日本語研修（文化・学術専門家）申請書

2017(平成 29)年度用
For FY 2017

JAPANESE-LANGUAGE PROGRAM FOR SPECIALISTS
(SPECIALISTS IN CULTURAL AND ACADEMIC FIELDS)
APPLICATION FORM

SHEET 1-B

APPLICANT SHEET for *Librarians*
候補者シート（専任司書用）

Please fill in this application form in Japanese or in English. / 申請書は、日本語又は英語で記入してください。

Check the course for which you wish to apply. / 参加希望のコースに印をつけてください。

[1st Priority][2nd Priority]

[第 1 希望] [第 2 希望]

- Two-month course (Jun.-Aug. 2017) 2 か月コース（2017 年 6 月－8 月）
 Six-month course (Oct.2017-Apr. 2018) 6 か月コース（2017 年 10 月－2018 年 4 月）

1. Applicant
申請者

Name 氏名 _____
 Home Address _____
 申請者住所 _____
 _____ Country 国名
 Nationality Telephone _____
 国籍 電話 _____
 Signature of the applicant Date of signature _____
 申請者署名 日付 _____

※ If you are currently a full-time librarian and at the same time either a researcher or postgraduate student (in master course or doctor course), you need to complete the questions with ★ providing all the requested information.

現在、図書館の専任司書であり、かつ「研究者」「大学院生（修士課程在籍中）」「大学院生（博士課程在籍中）」である申請者は、以下 2 箇所の★印の設問項目にも記入してください。

★ Check your current status. 現在の身分に印をつけてください。

- Researcher 研究者
 Postgraduate student (masters course) 大学院生（修士課程在籍中）

※ If the date to start the Doctoral course is already determined, please write the date.
 博士課程進学が確定している人は、入学予定年月日を記入してください。

Year Month Day
 _____年_____月_____日

- Postgraduate student (doctoral course) 大学院生（博士課程在籍中）

★ Date proceeded (or planned to proceed) to the Degrees (masters, doctorate)
 学位取得年月日（予定を含む）

Masters Degree 修士号 Year Month Day
 _____年_____月_____日
 Doctoral Degree 博士号 Year Month Day
 _____年_____月_____日

SHEET 1-B

2. Present affiliation

所属先

Name of the library to which the applicant belongs

所属図書館名 _____

This library permits the applicant mentioned above to apply for this program and in case he/she is selected, to participate in this program.

当館は、上記の者が本研修事業に申請すること、及び採用された場合に本研修事業に参加することを許可いたします。

Signature of Representative of the library

代表者署名 _____

Name of Representative of the library

代表者氏名 _____

Position/Title

職名 _____

Address

所在地 _____

Country 国名 _____

TEL _____

FAX _____

URL _____

Major Duties

主要業務 _____

3. The person who recommends the applicant

推薦者

Names and positions or titles of the two people who write "Recommendation Sheets".

推薦書シートの推薦者の氏名、肩書

1) Name 氏名 _____

Position/Title

職名 _____

2) Name 氏名 _____

Position/Title

職名 _____

※ For the use of personal information, please refer to the "Application Instructions" 11. Handling of Personal Information.

個人情報の利用目的については、申請要領の「11. 個人情報の取扱い」をご覧ください。

SHEET 1-B

4. Name 氏名

In Roman alphabet and *Kanji* (if you have) ローマ字及び漢字

Roman alphabet
ローマ字 _____

Kanji 漢字 _____

Name on your Passport _____
(Family Name) (First Name) (Middle Name)

5. Sex 性別 Male 男 Female 女

6. Date of Birth 生年月日 _____ **Age 年齢** _____
(Day 日) (Month 月) (Year 年)

7. E-mail _____

8. Nearest Airport 最寄空港 _____

9. Academic Background 学歴

Institution 機関名	Location 場所	Period 期間	Major 専攻	Degree, diploma 学位
		_____ (month) (year) ~ _____ (month) (year)		
		_____ (month) (year) ~ _____ (month) (year)		
		_____ (month) (year) ~ _____ (month) (year)		

10. Previous Stay in Japan 日本滞在歴

(period, purpose, grants received, if any 期間、目的、受けたグラントを明記のこと)

11. First Language (Mother tongue) 母語 _____

12. Experience in learning foreign languages other than Japanese 既習外国語（日本語を除く）

Language 言語	Proficiency 能力	Language 言語	Proficiency 能力
English 英語	Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し Poor □できない		Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し
	Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し		Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し
	Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し		Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し

13. About the library to which the applicant belongs 所属図書館について

- (1) Year of establishment 設立年 _____
- (2) Number of total staffs 職員総数 _____ (3) Total number of Librarians 司書総数 _____
- (4) Number of full-time librarians 専任司書 _____
- (5) Number of part-time librarians 非専任司書 _____
- (6) Number of users per year 年間利用者数 _____
- (7) Major kinds of users (Please specify, such as students, researchers, general public, etc.)
 主な利用者の種類 (学生、研究者、一般人等、具体的に記す。)

14. About the collection and management of the library 図書館の蔵書、運営について

Fill in the blanks with ※ marks / ※印の欄に記入すること	The whole library 図書館全体	Materials in Japanese 日本語の資料
Number of books 蔵書数	※ 冊	※ 冊
Number of books acquired annually 図書年間受入冊数	※ 冊	※ 冊
Number of volumes of dictionaries and other reference materials in Japanese 日本語の辞書・参考図書類冊数		※ 冊
Number of volumes of textbooks and other learning materials on the Japanese language 日本語教材類冊数		※ 冊
Method of classification of books 図書の分類法	※	※
Number of periodicals regularly acquired 受入定期刊行物	※ 誌	※ 誌
Number of newspapers subscribed 購読新聞数	※ 紙	※ 紙

15. The applicant's experience of education or training for librarianship

図書館学関連学習歴、研修受講歴

Institution (university, school, etc.) 機関名	Term 期間	License, diploma, etc. 取得資格等
	_____ ~ _____ (month) (year) (month) (year)	
	_____ ~ _____ (month) (year) (month) (year)	
	_____ ~ _____ (month) (year) (month) (year)	

SHEET 1-B

16. The applicant's career as a librarian 候補者の司書歴

Please specify the length of your service, your main duties, your work status (full-time or part-time), and the type of your work.

※ In the section of Type of Work, please describe your work as concretely as possible. If there is any achievement in your work such as book cataloguing and system development, please include them as well.

業務期間、主要業務、専任・非専任の別、業務内容を記入してください。

※業務内容の欄には、あなたの担当業務について具体的に記述してください。また、業務業績（蔵書目録作成、システム開発等）があれば、記述してください。

Institution/ Library 機関名	Term 期間・Position 地位・ Main Duties 主要業務	※ Type of Work 業務内容
(例) 関西国際セ ンター図書 館	9 2007 ~ 12 2016 (present) (month) (year) (month) (year) <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> Full Time 専任 <input type="checkbox"/> Part Time 非専任 <hr/> 【Main Duties 主要業務】 日本語資料の整理、レファレンスサービス	日本語資料の整理：日本語の資料をNDCで分類し、目録を作成しています。2012年には、『関西国際センター図書館日本語資料蔵書目録』を作成しました。 レファレンスサービス：日本に関する資料や日本に関する情報について、幅広くレファレンスサービスを提供しています。自館で回答できない場合には、国立国会図書館に問い合わせをして回答しています。2009年より、メールで回答するサービスも始めました。
	~ (month) (year) (month) (year) <hr/> <input type="checkbox"/> Full Time 専任 <input type="checkbox"/> Part Time 非専任 <hr/> 【Main Duties 主要業務】	
	~ (month) (year) (month) (year) <hr/> <input type="checkbox"/> Full Time 専任 <input type="checkbox"/> Part Time 非専任 <hr/> 【Main Duties 主要業務】	
	~ (month) (year) (month) (year) <hr/> <input type="checkbox"/> Full Time 専任 <input type="checkbox"/> Part Time 非専任 <hr/> 【Main Duties 主要業務】	

17. Reason for applying to the program 参加志望理由

(1) Key words of your major study, research or library work at present (Please select up to 5 words).

現在、自分が行っている研究や業務のキーワード (5 つまで)

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

(2) Describe your research project, something related to the issues of your library work

現在、自分が主に行っている研究課題、業務上の課題について記述してください。

(3) How will the Japanese language be useful in your job/study? Please describe as specifically as possible.

自分の職務や研究において日本語能力がどのように役立つか、できるだけ具体的に記述してください。

18. Career plan after participation in this program 本研修参加後の職務計画

SHEET 1-B

19. Experience of learning the Japanese language 日本語学習歴

Institution 機関	Period 期間	Hours per week 週時間数	Textbooks 使用教材
	____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
	____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
	____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
	____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		

20. Score(s) of the Japanese-Language Proficiency Test administered by the Japan Foundation

日本語能力試験（国際交流基金主催）のスコア

Year 年	Level 級	Score 点数	Test Site 都市	Reg. Number 受験番号	Certificate Number (if passed) 認定書番号（合格の場合）
_____	_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	_____	_____

Have not taken the Test before. 受験経験なし

SHEET 1-B

21. Present proficiency in the Japanese language 現在の日本語能力

Please check all items which are within your ability.
下記項目の該当する欄をすべてマークしてください。

Conversation 会話力

(1) General / 一般

- No ability. / 全くできない。 No experience. / したことがない。
- Can make greetings and introduce myself. / あいさつ、自己紹介ができる。
- Can converse on survival level. / 旅行に最低限必要な会話ができる。
- Can converse with ease. / 日常生活の会話にはほぼ問題ない。
- Can converse about current social topics. / 今、社会で問題になっていることについて会話をすることができる。

(2) Professional 職務

- No ability. / 全くできない。 No experience. / したことがない。
- Can explain briefly about my work or field of study. / 自分の職務や専門分野について簡単に説明できる。
- Can answer the question on my work or field of study. / 自分の職務や専門分野に関する質問に答えることができる。
- Can discuss topics of my field of study. / 専門分野について議論できる。

Characters 文字

(1) Hiragana & Katakana ひらがな・カタカナ

- Can not read nor write. / 読めない。書けない。
- Can read and write. / 読める。書ける。

(2) Kanji 漢字

- Can understand (*) Kanji. *Fill in approx. number / 理解できる漢字 () 字程度
- Can write (*) Kanji. *Fill in approx. number / 書ける漢字 () 字程度

Reading 読む力

- No ability. / 全くできない。
- Can understand simple sentences. / 簡単な文が理解できる。
- Can understand texts of the intermediate level. / 中級レベルの文章が理解できる。
- Can read newspaper articles/academic papers and understand most of the contents with dictionaries. / 辞書を使いながら新聞記事、専門書を読んで概要が理解できる。
- Can read newspaper articles/academic papers and understand most of the contents without dictionaries. / 辞書なしで新聞記事、専門書を読んで概要が理解できる。

Writing 書く力

- No ability. / 全くできない。 No experience. / 書いたことがない。
- Can write a simple description on a familiar matter. / 身近な事柄について簡単な説明文が書ける。
- Can write an essay describing experiences and impressions. / 経験や印象を説明する簡単な文が書ける。
- Can write an essay on a social issue expressing my point of view. / 社会問題について意見文が書ける。
- Can write a short report on a topic related to my work or field of study. / 自己の職務や専門分野についての短いレポートが書ける。
- Can write a paper on a topic related to my work or field of study. / 自己の専門に関して論文が書ける。

22. What specific ability in the Japanese language do you want to improve or acquire through this program?

どのような日本語の能力を本研修で習得したいか、具体的に書いてください。

専門日本語研修（文化・学術専門家）申請書

JAPANESE-LANGUAGE PROGRAM FOR SPECIALISTS
(SPECIALISTS IN CULTURAL AND ACADEMIC FIELDS)
APPLICATION FORM

2017(平成 29)年度用
For FY 2017

SHEET 1-C

APPLICANT SHEET for Curators/Museum Researchers
候補者シート（学芸員用）

Please fill in this application form in Japanese or in English. / 申請書は、日本語又は英語で記入してください。

Check the course for which you wish to apply. / 参加希望のコースに印をつけてください。

[1st Priority][2nd Priority]

[第 1 希望] [第 2 希望]

- Two-month course (Jun.-Aug. 2017) 2 か月コース（2017 年 6 月－8 月）
 Six-month course (Oct.2017-Apr. 2018) 6 か月コース（2017 年 10 月－2018 年 4 月）

1. Applicant

申請者

Name 氏名 _____

Home Address
申請者住所 _____

Nationality 国籍 _____ Country 国名 _____
Telephone 電話 _____

Signature of the applicant 申請者署名 _____ Date of signature 日付 _____

※ If you are currently a curator of a museum/museum researcher and at the same time either a researcher or postgraduate student (in master course or doctor course), you need to complete the questions with ★ providing all the requested information.

現在、博物館/美術館の学芸員であり、かつ「研究者」「大学院生（修士課程在籍中）」「大学院生（博士課程在籍中）」である申請者は、以下 2 箇所の★印の設問項目にも記入してください。

★ Check your current status. 現在の身分に印をつけてください。

- Researcher 研究者
 Postgraduate student (masters course) 大学院生（修士課程在籍中）

※ If the date to start the Doctoral course is already determined, please write the date.

博士課程進学が確定している人は、入学予定年月日を記入してください。

Year Month Day
_____年 _____月 _____日

- Postgraduate student (doctoral course) 大学院生（博士課程在籍中）

★ Date proceeded (or planned to proceed) to the Degrees (masters, doctorate)

学位取得年月日（予定を含む。）

Masters Degree 修士号 Year Month Day
_____年 _____月 _____日

Doctoral Degree 博士号 Year Month Day
_____年 _____月 _____日

2. Present affiliation
所属先

Name of the museum to which the applicant belongs
所属博物館/美術館名 _____

This museum permits the applicant mentioned above to apply for this program and in case he/she is selected, to participate in this program.
当館は、上記の者が本研修事業に申請すること、及び採用された場合に本研修事業に参加することを許可いたします。

Signature of Representative of the museum
代表者署名 _____

Name of Representative of the museum
代表者氏名 _____

Position/Title
職名 _____

Position 地位 Full Time 専任 / Part Time 非専任

Address
所在地 _____
Country 国名 _____

TEL _____ FAX _____ URL _____

Major Duties
主要業務 _____

3. The person who recommends the applicant
推薦者

Names and positions or titles of the two people who write “Recommendation Sheets”.
推薦書シートの推薦者の氏名、肩書

1) Name 氏名 _____
Position/Title
職名 _____

2) Name 氏名 _____
Position/Title
職名 _____

※ For the use of personal information, please refer to the “Application Instructions” 11. Handling of Personal Information.
個人情報の利用目的については、申請要領の「11. 個人情報の取扱い」をご覧ください。

SHEET 1-C

4. Name 氏名

In Roman alphabet and *Kanji* (if you have) ローマ字及び漢字

Roman alphabet
ローマ字 _____

Kanji 漢字 _____

Name on your Passport _____
(Family Name) (First Name) (Middle Name)

5. Sex 性別 Male 男 Female 女

6. Date of Birth 生年月日 _____ **Age 年齢** _____
(Day 日) (Month 月) (Year 年)

7. E-mail _____

8. Nearest Airport 最寄空港 _____

9. Academic Background 学歴

Institution 機関名	Location 場所	Period 期間	Major 専攻	Degree, diploma 学位
		____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
		____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
		____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		

10. Professional Experience 職歴

Institution 機関名	Location 場所	Period 期間	Position 地位	Type of Operation 職種
		____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
		____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
		____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		

11. Previous Stay in Japan 日本滞在歴

(period, purpose, grants received, if any 期間、目的、受けたグラントを明記のこと)

12. First Language (Mother tongue) 母語 _____

13. Experience in learning foreign languages other than Japanese 既習外国語 (日本語を除く。)

Language 言語	Proficiency 能力	Language 言語	Proficiency 能力
English 英語	Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し Poor □できない		Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し
	Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し		Excellent □よくできる Good □できる Fair □少し

14. About the museum to which the applicant belongs 所属博物館／美術館について

- (1) Year of establishment 設立年 _____
- (2) Number of total staffs 職員総数 _____ (3) Total number of Curators 学芸員総数 _____
- (4) Number of Full-time Curators 専任学芸員 _____ (5) Number of Part-time Curators 非専任学芸員 _____
- (6) Financial base (public, private, NPO, etc.)
設立母体/財源 (公立/私立/NPO、等) _____
- (7) Admission fee
入場料等 _____
- (8) Number of visitors per year 年間利用者数 _____
- (9) Major collection
主要なコレクション _____

- (10) Contents of major Japanese collection
日本コレクションの有無及び内容 _____

- (11) Contents of permanent exhibition
常設展の内容
- (12) Frequency of organizing special exhibitions
特別展の開催頻度 _____
- (13) Themes and contents of the significant special exhibitions
特別展の主たる内容

SHEET 1-C

15. Write your major exhibitions, workshops, symposium, etc. (Please select up to 4 of them.)

学芸員として関った展覧会、ワークショップ、シンポジウム等（主なもの 4 件まで）についてお書きください。

Title of exhibition, year of it, name of place, artists and works, etc.

タイトル、開催年、会場名、出品作家・作品、その他

①

②

③

④

16. Exhibition you would like to plan in the future.

今後手がけたいと考えている展覧会等

SHEET 1-C

17. Write your major work, research, dissertation (Please select up to 5 works).

研究業績・論文（主なもの5点まで）についてお書きください。

※ Attach a copy of one of the above-mentioned works. Also attach the summary (approx. 50 words each) of each of these works.

上記業績の内の1つのコピーを添付してください。また、各業績の研究概要（各々約50語程度の要約）を添付してください。

Title of works or dissertations, year of publishing, name of publisher, journal, or conference, language use in it, etc.
 題名、発表年、出版社・雑誌名、会議名、使用言語、その他

①

②

③

④

⑤

18. Describe your major field of study or research.

専門分野について記述してください。

(1) Key words of your major study or research at present (Please select up to 5 words)

現在、自分が行っている研究のキーワード (5 つまで)

- | | |
|----------|----------|
| 1. _____ | 2. _____ |
| 3. _____ | 4. _____ |
| 5. _____ | |

(2) Title of the paper or the article you plan to write

予定している論文・記事のテーマ

(3) Contents of your major study or research at present, and fields or subjects in which you are interested

現在、自分が主に行っている研究の内容、関心のある分野・テーマ等

19. Reason for applying to the program 参加志望理由

(1) How will the Japanese language be useful in your job? Please check all the items which best reflect your needs.

自分の職務において日本語能力がどのように役立つか、以下の選択肢の中から選んでください。(複数回答可)

- For collection and conservation of Japanese works / 日本コレクションの収集・管理のため。
- For planning and organizing exhibitions related to Japan (research, negotiation with collectors, cooperation with Japanese curators and museum researchers, etc.) / 日本に関連する展覧会の企画・実施のため。(情報収集 / 作品の出品交渉 / 日本の美術館・学芸員・研究者との連携など)
- For further investigating your major field of study or research as curator/museum researcher / 学芸員としての研究テーマを深めるため。
- For acquiring administrative skills of Japanese museums, especially skills concerning public relations, conservation of works, planning and organizing exhibitions, etc. / 日本の博物館・美術館における管理運営ノウハウ (対外的広報 / コレクション管理 / イベント開催、等) を学ぶため。
- For learning about the service for visitors to Japanese museums, especially multi-lingual service in publishing catalogues or preparing captions for works, etc. / 日本の博物館・美術館の利用者に対するサービス (特にコレクションのカタログやキャプション作成に際しての多言語サービス、等) について学ぶため。
- Others / その他

SHEET 1-C

(2) Please describe the reasons as specifically as possible. / 上記(1)の理由を具体的に記述してください。

20. Experience of learning the Japanese language 日本語学習歴

Institution 機関	Period 期間	Hours per week 週時間数	Textbooks 使用教材
	____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
	____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
	____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		
	____ ~ ____ (month) (year) (month) (year)		

21. Score(s) of the Japanese-Language Proficiency Test administered by the Japan Foundation

日本語能力試験（国際交流基金主催）のスコア

Year 年	Level 級	Score 点数	Test Site 都市	Reg. Number 受験番号	Certificate Number (if passed) 認定書番号（合格の場合）
_____	_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	_____	_____

Have not taken the Test before. 受験経験なし。

SHEET 1-C

22. Present proficiency in the Japanese language 現在の日本語能力

Please check all items which are within your ability.
下記項目の該当する欄をすべてマークしてください。

Conversation 会話力

(1) General / 一般

- No ability. / 全くできない。 No experience. / したことがない。
 Can make greetings and introduce myself. / あいさつ、自己紹介ができる。
 Can converse on survival level. / 旅行に必要な会話ができる。
 Can converse with ease. / 日常生活の会話にはほぼ問題ない。
 Can converse about current social topics. / 今、社会で問題になっていることについて会話をすることができる。

(2) Professional / 職務

- No ability. / 全くできない。 No experience. / したことがない。
 Can explain briefly about my work or field of study. / 自分の職務や専門分野について簡単に説明できる。
 Can answer the question on my work or field of study. / 自分の職務や専門分野に関する質問に答えることができる。
 Can discuss issues of my field of study. / 専門分野について議論できる。

Characters 文字

(1) Hiragana & Katakana ひらがな・カタカナ

- Can not read nor write. / 読めない。書けない。
 Can read and write. / 読める。書ける。

(2) Kanji 漢字

- Can understand (*) Kanji. *Fill in approx. number / 理解できる漢字 () 字程度
 Can write (*) Kanji. *Fill in approx. number / 書ける漢字 () 字程度

Reading 読む力

- No ability. / 全くできない。
 Can understand simple sentences. / 簡単な文が理解できる。
 Can understand texts of the intermediate level. / 中級レベルの文章が理解できる。
 Can read newspaper articles/academic papers and understand most of the contents with dictionaries. / 辞書を使いながら新聞記事、専門書を読んで概要が理解できる。
 Can read newspaper articles/academic papers and understand most of the contents without dictionaries. / 辞書なしで新聞記事、専門書を読んで概要が理解できる。

Writing 書く力

- No ability. / 全くできない。 No experience. / 書いたことがない。
 Can write a simple description on a familiar matter. / 身近な事柄について簡単な説明文が書ける。
 Can write an essay describing experiences and impressions. / 経験や印象を説明する簡単な文が書ける。
 Can write an essay on a social issue expressing my point of view. / 社会問題について意見文が書ける。
 Can write a short report on a topic related to my work or field of study. / 自己の職務や専門分野についての短いレポートが書ける。
 Can write a paper on a topic related to my work or field of study. / 自己の専門に関して論文が書ける。

23. What specific ability in the Japanese language do you want to improve or acquire through this program?

どのような日本語の能力を本研修で習得したいか、具体的に書いてください。

RECOMMENDATION SHEET
推薦書シート

※ These recommendation sheets must be written by two persons, and may be provided to outside consultants in order to facilitate the screening process and to analyze for evaluation of the programs. These sheets cannot be returned.

If written by the applicant, the application is invalid.

これらの推薦書は異なる2名の方より取得してください。なお、採否審査(及び採用案件については事業実施後の事業評価)のため、外部有識者等の評価者に提供することがあります。提出された推薦書は返却いたしません。本人が作成した場合は申請は無効になります。

1. Reason(s) for recommending the applicant 候補者推薦理由

2. Reason(s) for the applicant to take part in this program 候補者が研修に参加する必要性

3. Requests concerning the training, if any 研修に対して要望があれば、記入してください。

Name 氏名 _____

Signature 署名 _____ Date 日付 _____

RECOMMENDATION SHEET

推薦書シート

※ These recommendation sheets must be written by two persons, and may be provided to outside consultants in order to facilitate the screening process and to analyze for evaluation of the programs. These sheets cannot be returned. If written by the applicant, the application is invalid. これらの推薦書は異なる 2 名の方より取得してください。なお、採否審査(及び採用案件については事業実施後の事業評価)のため、外部有識者等の評価者に提供することがあります。提出された推薦書は返却いたしません。本人が作成した場合は申請は無効になります。

1. Reason(s) for recommending the applicant 候補者推薦理由

2. Reason(s) for the applicant to take part in this program 候補者が研修に参加する必要性

3. Requests concerning the training, if any 研修に対して要望があれば、記入してください。

Name 氏名 _____

Signature 署名 _____ Date 日付 _____

ASSESSMENT FORM OF JAPANESE LANGUAGE ABILITY
日本語能力評価用紙

This form must be filled in by a Japanese language teacher, from an objective viewpoint, and must be attached to the application. The evaluator does not necessarily have to be a teacher who has taught the applicant. If written by the applicant, the application is invalid.

日本語の教師が、候補者の日本語能力を客観的に記入して、他の用紙と同時に提出すること。(評価をする日本語教師は、候補者を直接指導した経験がない者でも可。) 申請者本人が作成した場合は申請が無効になります。

Assessed by 評価者:

Name 氏名 _____ Signature 署名 _____

Institution 所属機関名 _____

Is the institution a member of JF Nihongo Network (Sakura network)? Yes はい No いいえ
 JF にほんごネットワーク (さくらネットワーク) のメンバー機関

Position/Title 身分・職名 _____

Contact Address and Phone Number
 連絡先 _____

Have you ever taught the applicant? 参加候補者への指導経験の有無
 Yes ある No なし

If "Yes", please describe how and where you have taught the applicant.
 「ある」の場合、その内容を簡単にご説明ください。

If "No", please describe what the basis of your assessment is.
 「なし」の場合、何をもとにした評価か、簡単にご説明ください。

JAPANESE LANGUAGE ABILITY OF THE APPLICANT 参加候補者の日本語能力

Please check all items which are within the applicant's ability.
 下記項目の該当する欄を全てマークしてください。

Name of the applicant 候補者氏名

Conversation 会話力

(1) General / 一般

- No ability. / 全くできない。
- Can make greetings and introduce oneself. / あいさつ、自己紹介ができる。
- Can converse on survival level. / 旅行に必要な会話ができる。
- Can converse with ease. / 日常生活の会話にはほぼ問題ない。
- Can converse about current social topics. / 今、社会で問題になっていることについて会話をする事ができる。

(2) Professional / 職務

- No ability. / 全くできない。
- Can explain briefly about his/her work or field of study. / 自分の職務や専門分野について簡単に説明できる。
- Can answer the question on his/her work or field of study. / 自分の職務や専門分野に関する質問に答えることができる。
- Can discuss issues of his/her field of study. / 専門分野について議論できる。

◎ Additional comments on accuracy, fluency, etc. 正確さ、流暢さなど、特記すべきことを記してください。

SHEET 3

Characters 文字

(1) *Hiragana* ひらがな

- Can not read nor write. / 読めない。書けない。
- Can read but can not write. / 読めるが書けない。
- Can read and write. / 読める。書ける。

(2) *Katakana* カタカナ

- Can not read nor write. / 読めない。書けない。
- Can read but can not write. / 読めるが書けない。
- Can read and write. / 読める。書ける。

(3) *Kanji* 漢字

- Can understand (*) *Kanji*. *Fill in approx. number / 理解できる漢字 () 字程度。
- Can write (*) *Kanji*. *Fill in approx. number / 書ける漢字 () 字程度。

◎ Additional comments on accuracy, fluency, etc. 正確さ、流暢さなど、特記すべきことを記してください。

Reading 読む力

- No ability. / 全くできない。
- Can understand simple sentences. / 簡単な文が理解できる。
- Can understand texts of the intermediate level. / 中級レベルの文章が理解できる。
- Can read newspaper articles/academic papers and understand most of the contents with dictionaries. / 辞書を使いながら新聞記事、専門書を読んで概要が理解できる。
- Can read newspaper articles/academic papers and understand most of the contents without dictionaries. / 辞書なしで新聞記事、専門書を読んで概要が理解できる。

◎ Additional comments on accuracy, fluency, etc. 正確さ、流暢さなど、特記すべきことを記してください。

Writing 書く力

- No ability. / 全くできない。
- Can write a simple description on a familiar matter. / 身近な事柄について簡単な説明文が書ける。
- Can write an essay describing experiences and impressions. / 経験や印象を説明する簡単な文が書ける。
- Can write a an essay on a social issue expressing his/her point of view. / 社会問題について意見文が書ける。日本語能力試験 N3 (旧日本語能力試験 3~2 級) 程度。
- Can write a short report on a topic related to his/her work or field of study. / 自己の職務や専門分野についての短いレポートが書ける。
- Can write a paper on a topic related to his/her work or field of study / 自己の専門に関して論文が書ける。

◎ Additional comments on accuracy, fluency, etc. 正確さ、流暢さなど、特記すべきことを記してください。

Any other comments on his/her ability in the language その他、候補者の日本語能力に関するコメント

SHEET 4

申請資格 (チェックリスト)

該当する要件のチェックボックス (□) にチェックした上、申請書と共に本紙も必ず提出してください。

申請者は以下に掲げる要件を全て満たしていなければなりません。

- 研修開始時点において、所属機関と雇用関係にある者で、帰国後も当該機関に引き続き勤務することが予定されている者 (ただし、大学院生は除く。) で、以下の 5 要件のいずれかを満たすこと。
 - ア. 日本以外の国・地域の大学・研究所等の高等教育機関又は研究機関において教員 (講師、助手等)、研究員等の身分を有して研究活動を行っていること。
 - イ. 日本以外の国・地域の公的機関 (官庁、シンクタンク等を含む。) において専門的な研究業務に従事していること。
 - ウ. 日本以外の国・地域で大学院修士課程もしくは博士課程に研修参加時点で正規生として在籍していること。(学位取得資格がない聴講生・研究生等は除く。) なお、卒業時に修士号を取得できる大学の大学生の場合、2016 (平成 28) 年 12 月 1 日現在、最終学年に在籍し満 22 歳以上であれば、この要件に該当するものと見なします。
 - エ. 日本以外の国・地域の高等教育機関・研究機関、文化交流機関又は公共図書館等に在籍する専任司書であること。
 - オ. 日本以外の国・地域の博物館・美術館等の正職員 (学芸員等) で、日本を含む国際交流業務に携わる者。
- 本研修参加に関し、上記に掲げる申請者の所属機関の責任者の了承が得られる者。
- **【2 か月コース】** 専攻分野が、日本をその対象に含む社会科学又は人文科学であること。
- **【6 か月コース】** 専攻分野が、日本をその対象に含む社会科学又は人文科学であること。ただし、日本語学及び日本語教育は除く。
- 特定の専門業務及び専門の研究活動を円滑に遂行する上で日本語能力を必要としていること。また大学院生については、日本に関係のある内容で修士論文又は博士論文を執筆する予定であり、研究のために日本語の学習を必要としていること。
- **【6 か月コース】** 日本に関連する明確な研究テーマ又は活動テーマを持ち、その成果を発表する予定があること。
- 申請時点で日本語能力試験 N4 又は旧日本語能力試験 3 級程度以上の日本語能力を有していること。(日本語能力試験の各レベルの認定の目安は、日本語能力試験公式ウェブサイトの「N1~N5: 認定の目安」<http://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html> を参照。)
- 2016 (平成 28) 年 12 月 1 日より逆算して過去 5 年以内に、国際交流基金日本語国際センターの各教師研修に参加していないこと。
- 過去に国際交流基金日本語国際センター又は関西国際センターの司書日本語研修に参加していないこと。
- 過去に国際交流基金関西国際センターの研究者・大学院生日本語研修に参加していないこと。
- 過去に国際交流基金関西国際センターの専門日本語研修 (文化・学術専門家) に参加していないこと。
- 2016 (平成 28) 年 12 月 1 日現在、満 40 歳未満であること。
- 心身ともに健康であること。
- 日本の義務教育を 3 年以上受けた者でないこと。
- 研修開始時において、他の研修・留学等で日本に来る予定がないこと。
- 日本と国交のある国の国籍を有すること。

※ただし、台湾の方も申請可能です。

なお、以下の書類が添付されているかどうか、チェックしてください。

- **研究業績のコピー (1 点)**
著書、論文、研究発表原稿等。著書の場合、一部の抜粋でも可。候補者が大学院生の場合、学部及び大学院の成績証明書でも可。候補者が専任司書の場合、業務に関連する報告書、蔵書目録作成やシステム開発に関する業務業績等でも可。
- 候補者シートに列挙した各研究業績の概要 (各々約 50 語程度の要約)
- ” SHEET2” 「推薦書シート」 (異なる 2 名の方より計 2 通) 申請者本人記入不可。

SHEET 4

ELIGIBILITY CHECKLIST

Please check if you fulfill all the requirements below and submit this together with your application form.

Individuals who fulfill all of the following requirements can apply for the program.

- Individuals who fulfill at least one of the following requirements and have an employment relationship with the organization they are currently affiliated with, at the time of participation in the program. It is expected that applicants will continue working in the aforementioned affiliated organization after completing this program (excluding postgraduate students).
 - a) Individuals who carry out research activities as teachers (professors, instructors, teaching assistants, etc.), researchers, etc., at institutions of advanced education, such as universities, research centers, or other research organizations outside Japan.
 - b) Individuals who are engaged in a job of specialized research work in public sector organizations, such as government agencies, think tanks, etc. outside Japan.
 - c) Individuals who are officially registered as full-time students in a Master's or Doctoral course of a graduate school outside Japan at the time of participation in the program. (excluding non-degree students.) Concerning undergraduate students of the universities and colleges that issue a Master's degree upon their graduation, applicants can be regarded to fulfill this requirement, if they are in the final year and their age is 22 or over, as of December 1, 2016.
 - d) Individuals who are currently employed as full-time librarians by universities, colleges, other institutions of advanced education, academic research institutions, cultural exchange organizations, or public libraries.
 - e) Individuals who are full-time curators or researchers of museums outside Japan currently working for international exchange programs that concern Japan.
- Applicants must obtain the permission of the representative of their affiliated organization mentioned above.
- [Two-month course] Applicants must be in the fields of Japan-related social sciences or humanities.
- [Six-month course] Applicants must be in the fields of Japan-related social sciences or humanities excluding Japanese language study and Japanese language education.
- Applicants must have a need for Japanese language proficiency for smoothly carrying out their specialized work and research activities. For postgraduate students, applicants must have plans to write their Master's or Doctoral dissertation on a subject related to Japan and need to learn Japanese language in order to carry out the research necessary to accomplish that purpose.
- [Six-month course] Applicants must have a plan to make a presentation on their achievements.
- Applicants must have Japanese language proficiency equal to or above Level N4 of the Japanese-Language Proficiency Test or Level 3 of the old JLPT (Please view the official website of JLPT <http://www.jlpt.jp/e/about/levelsummary.html> to find the summary of linguistic competence required for each level).
- Applicants must not have participated in Teacher Training Programs organized by the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa in the last five years as of December.1, 2016.
- Applicants must have never participated in the Japanese-Language Program for Librarians organized by the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa or the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai.
- Applicants must have never participated in the Japanese-Language Program for Researchers and Postgraduate Students organized by the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai.
- Applicants must have never participated in the Japanese-Language Program for Specialists (in Cultural and Academic Fields) organized by the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai.
- Applicants must be under the age of 40 as of December 1, 2016.
- Applicants must be in good physical and mental health.
- Applicants must not have received compulsory education in Japan more than 3 years.
- Applicants must not be scheduled to come to Japan for study or training under other programs, at the time of participation in the program.

SHEET 4

- Applicants must be nationals of a country that has diplomatic relations with Japan.
※Taiwanese are eligible to apply for this program.

Please also attach the following documents to the application.

A copy of one of your achievements

For example, your publications, dissertations, or scripts of your major research work, etc. In case of a book, you may attach a copy of an excerpt, instead of all pages. In case of postgraduate students, the certificate of marks for the universities would also be acceptable. In case of librarians, your library reports, and achievements in your library service such as making catalogues of books, developing a cataloguing system, etc. would also be acceptable.

Summary of your achievements

As instructed on “APPLICANT SHEET”, also attach a summary of your achievements listed on them (about 50 words for each).

- Two forms of recommendation should be submitted.** (from two persons) DO NOT fill in by applicant.